

## 在り方検討委員会の進め方(事務局案)

## 第 1 回(令和 5 年 2 月 17 日)

## ○日野市の幼児教育・保育全体を通じた課題認識の共有

- ・幼児教育・保育と小学校教育の円滑な接続に関すること
- ・特別な配慮を要する子ども、外国人等への支援に関すること
- ・その他、公立幼稚園の在り方など日野市らしい幼児教育・保育の実現に向けた方策に関すること

↓

## ○課題を踏まえた今後の議論の方向性を確認

- ・目指すべき姿
- ・実現のための具体策 など ※詳細は第2回以降で議論

## 第 2 回以降(以降、2か月に1回程度のペースで開催)

## ○質向上のための具体的な方策を議論

- ・幼児教育全体を通じた現状と課題
- ・インクルーシブ教育に関する目指す姿
- ・特別な配慮を必要とする幼児の観点からの、質向上のための具体策
- ・幼保小連携に関する目指す姿
- ・幼保小連携の観点からの、質向上のための具体策など  
⇒日野市に求められる役割とは。

※連携 PT、公立幼稚園が果たすべき役割も含む。

## 【委員会事務局】

委員からの求めにより

- ・資料提供
  - ・有識者からのヒアリング
  - ・実態調査
- 等を想定

## 第 回以降

## ○とりまとめ

- ・テーマごとの議論を踏まえた、具体的方策など
- ・さらに深掘すべき論点を議論

⇒取りまとめた内容を日野市へ報告

## 【(仮)幼児教育・保育連携推進プロジェクトチーム】

- ・検討結果の実働部隊として、施策の展開、具体案の検討。
- ・幼児教育・保育アドバイザーによる巡回支援など。
- ・公民幼保小による合同研修や研究。